

「志真志幼稚園の認定こども園移行に関する保護者・地域説明会」質問及び回答・ご意見等

日時：令和8年9月4日(金) 18時30分～19時30分 (参加者32名)

場所：志真志幼稚園

No	質問	回答者	回答
1	加配園児は何名入園できそうですか？1園あたり何名の加配の子が在籍していますか？ 加配の有無で入園を断られる可能性もありますか？	保育こども園課	どのような加配を要するのか（1：1 or 1：3）は、審査会を経て判断となるため、現時点で、断定的な回答は難しいですが、現在公立は10名、民間は5名程度預かっております。原則、志真志小学校区内であれば、加配の有無にかかわらず、受入れは行っていく予定です。
2	1クラスに職員は何名配置を想定していますか？	保育こども園課	担任は複数担任を予定しております。 また、認定こども園化することで、職員数も現在の14名から30名前後になる予定となっております。
3	認定こども園化した場合、保健室のような部屋はありますか？	保育こども園課	保健室は職員室内にあります。看護師を1名は配置する予定となっておりますので、体調不良時や応急処置等についても、看護師にて対応できるような体制を予定しております。
4	園と家庭の連絡手段は、現在のように紙媒体（手書き）になりますか？	保育こども園課	スクリレというシステムを現在は利用しており、やり取りの一部はシステムを利用したりもしていますが、今後、やり取りを全てシステムで行えるようなものに変更することも検討していきます。
5	園外活動はありますか？ その場合、保護者同伴となりますか？	保育こども園課	現在の志真志幼稚園では、園外活動として、春の遠足、バスを利用しての秋の遠足、お別れ遠足、地域交流等も行っております。 保護者の同伴については、必要に応じて依頼して行く予定です。
6	登降園は徒歩ということですが、これは、自宅から園まで全てを徒歩通園を前提としていますか？徒歩登園できない自宅距離の場合、校門前の路側帯に車両停止して送迎してよいのですか。	こども政策課	現在志真志小学校で800名以上在籍している中、こども園移行後100名前後が新たに通園するとなると、登園や降園時には1000名弱の児童が通学路にはいることになるため、児童の安全確保の観点から、徒歩通園をお願いしているところです。校門前の路側帯については、一時的な停車場所として7～8台程度した停められません。送迎のため一定時間駐車されると、渋滞を引き起こしてしまいます。車両送迎が必要なご家庭につきましては、送迎スペースのある近隣の認可保育施設の選択も検討いただくようお願いいたします。
7	志真志小学校前の道路の道幅が狭いため、9月から路側帯停車の運用方法を制限したと聞きましたが、詳細を教えてください。	志真志小学校長	徒歩登園を依頼しているところではありますが、校門前での送迎は減少しない状況があり、路側帯停車の利用方法も守っていただけていない様子も多々あります。9月から、路側帯にコーンでを設置しUターンできないようにいたします。路側帯に進入する際は、宜野湾記念病院側から入り、沖縄大学の方へ抜けるような一方通行の運用を行う予定です。
8	登降園時に、小学生の兄姉と一緒に徒歩通園させてもよいでしょうか？	保育こども園課	原則、登園や降園については、玄関先で保護者と園で引き渡すことを前提としています。 ただし、5歳児に限っては、小学校進学後の登校を見越した慣らし登園を希望する保護者につきましては、こどもの状況をふまえ保育者と相談の上で、登降園の方法を決めることも想定しております。原則登降園中事故や怪我等は、保護者の責任となります。そのため、児童だけの登降園となる場合は、その旨をご説明させて頂き誓約書等への同意を求めることになります。
9	運動会等の行事は、これまでのように小学校と日程を合わせて合同で実施しますか？	志真志幼稚園	現時点では、まだ未定ですが、認定こども園化することで、3歳児も通うことになるため、これまでのように小学校と日程を合わせて、合同実施することが時間的に可能か、パフォーマンスの質を保てるか等、様々な視点で検討していく必要があると感じています。

10	土曜日保育について、部分的に利用することも可能ですか？	保育こども園課	1号認定の場合、小学校と同じように月～金に登園日になり、夏休み等もあります。土曜保育を利用する場合、預かり保育となるため、実費を支払うことで利用することは可能です。 2号認定の場合は、月曜日から土曜日までが通常保育となりますので、土曜日でも通常保育として利用することができるようになります。
以下は、質問ではなく説明会時にあった「ご意見」となります。			
一般の立哨ボランティアの方（平日の登校時に3年ほど立哨いただいている）		現在、登校時に安全指導で立っているが、登校時間は通勤者に加え一部の送迎と思われる車両による交通量が増加し、危険。道幅が狭いのにも関わらず、正門前の停車スペース等に駐車しようとききを待つ間、頻繁に渋滞が発生する。1 mも無い狭い車両脇を、子どもたちは歩くしかなく、特に雨天時は車両に傷をつけないように、傘を閉じて濡れながら登校する姿をよく見かける。そのような実態から、自分の子どもだけでなく他の子どもたちのためにも、親子で徒歩登園をお願いしたい。	